

「第4次京都府雇用創出・就業支援計画」（中間案） に対する府民の皆さまからの御意見募集結果

平成25年12月20日
京都府商工労働観光部総合就業支援室
(電話 075-682-8912)

「第4次京都府雇用創出・就業支援計画」（中間案）について、府民の皆さまから御意見を募集いたしましたところ、貴重な御意見をいただきありがとうございました。
お寄せいただいた御意見及びこれに対する府の考え方を下記のとおり公表します。
また、御提出いただいた府民の皆さまの御意見を十分に考慮し、「第4次京都府雇用創出・就業支援計画」をとりまとめましたので、あわせて公表します。

記

- 1 意見募集期間
平成25年10月9日（水）から平成25年11月5日（火）まで
- 2 意見提出者数 3名
- 3 意見の要旨とこれに対する府の考え方
別紙のとおり
- 4 第4次京都府雇用創出・就業支援計画
別添のとおり

(別 紙)

「第4次京都府雇用創出・就業支援計画」
に係るパブリックコメントの要旨及びこれに対する府の考え方

項目	意見の要旨	府の考え方
正規雇用を拡大し、府内の非正規雇用者の割合を全国平均並みまで改善させることを目指す。	常用雇用に加え、正規雇用拡大を目標に掲げることは、雇用の質の向上に資する。 いわゆる「ブラック企業問題」が若年正規労働者を中心とする問題であることから、正規雇用においても雇用の質を重視し、就職後の人材育成等を含む労働条件を重視した丁寧なマッチングを実施されたい。	正規雇用の拡大に当たっては、京都企業と求職者のきめ細かな個別マッチングを行い、就職後の定着支援の取組を強化するとともに、雇用環境の改善等を進めるなど、雇用の質的向上を目指します。
中小企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進	中小企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進はよいと思う。	誰もが働きやすい環境の整備に向け、中小企業の取組を支援するとともに、新たに仕事と介護の両立に向けた取組も進めます。
京都ジョブパークのあり方	京都ジョブパークが目標を超える実績をあげていると言うが、京都が他府県に比べて雇用状況が目立って良いという話は聞いたことがありません。 ジョブパークがある京都とハローワークしかない大阪や兵庫と比べて大きな違いがあるのでしょうか。窓口が増えたわけではありませんか。 ハローワークとの違いや、ジョブパークがあるからこそ他府県との違いを示して欲しい。	京都ジョブパークでは、若年者、女性、中高年齢者、障害者等、就職を希望する方に対し、相談から就職、職場定着までをワンストップで支援しています。 また、企業が求める社会人基礎力の習得から就職までを一貫して支援するJPカレッジ事業や、子育て中の女性の就職活動、保育相談から一時保育の確保までのワンストップ支援など、ハローワークや他府県にない取組を実践しているところです。 こうした取組により、京都ジョブパークの就職内定者は大幅に増加（平成19年度3,012人→平成24年度7,037人）。利用者満足度調査においても、高い評価（10点満点中8点台後半）をいただいています。 今後とも、全国トップクラスの総合就業支援拠点として、京都ジョブパークの機能強化を図ります。